

白山市立蕪城小学校

校長だより

No. 5

令和7年度 6月16日



学校教育目標

自ら学び、心豊かで、たくましい児童の育成

～ みんなが元気 みんなで前進 ～

めざす児童像

「自ら考え、自ら学ぶ子」

「やさしく思いやりのある子」

「たくましい子」

待ちに待った「プール開き」！

6月16日（月）に、プール開きとなりました。ルールやマナーを全校で確認し、行動を揃えることを通して、安全に水泳学習を進めていきます。

今日の日を迎えるまでに、5年生がプール掃除を頑張ってくれました。たわしやデッキブラシ等を使って側面や床面の汚れを落としてくれました。多少の水がかかっても気にせず、笑顔で繰り返しこすっていました。

また、先日職員は、水泳学習開始にあたり、講師に松任消防署千代野分署の方をお迎えし、**救急法講習会を実施し、一次救命処置の手順（観察による反応や呼吸の有無の確認、心停止かどうかの判断、心肺蘇生やAEDも用いた電気ショック等の手当）**について体験を通して学びました。毎年この時期に講習を受けていますが、手当の仕方等が更新されていることもあり、最新の知識・技能を学ぶ機会となっています。このような状況にならないことが最も大切ですが、万が一に備えて救命処置の手順を確認しておくことは、安全な学習のために必須だと考えています。

今後、本格的に水泳学習が始まります。水に慣れながら、泳力アップの練習等に取り組む予定です。健康管理や水着の準備等、宜しくお願い致します。



白山ジオ合宿

6月11日（水）、12日（木）に6年生が白山ろく少年自然の家において、白山ジオ合宿を実施しました。子どもたちは、集団行動を意識しながら豊かな自然の中で活動を満喫していました。キャンドルサービスでは、儀式は厳かに、レクリエーションやフォークダンスは賑やかにと、メリハリのある楽しい時間を自分たちで創り上げていました。

学校での出発式では、校長から『4つの「あ」』を大切にしようと話しました。4つの「あ」とは、挨拶、ありがとう、安全、そして「あっ」と発見です。3つ目までは、児童はすぐに予想がついたようです。日頃から意識して、全校のお手本となるよう行動しているからだと思いました。最後の4つ目は、前日に白山ジオ合宿出前授業としてお話し頂いた 尾張勝也 白山ジオ・スーパーバイザーの言葉にあった**「五感のアンテナを伸ばして、自然から多くを発見しよう」**を表しています。振り返りを読むと、鳥の鳴き声や川のせせらぎの音、風にあたる感覚の心地よさ、「さっきまで生きていた」イワナを食べることを通して、命を頂き、感謝の気持ちを持って食べることの大切さ等を感じたようです。今回の体験をきっかけに、**自然から多くを感じとることができる「感性豊かな人間」となるよう願っています。**

また、文科省が発表した『21世紀出生児に関する継続調査についての特別報告』によると、小学校高学年段階での体験活動（「自然体験」「社会体験」「文化的体験」）が、その後の意欲や自尊感情、コミュニケーション能力等の「非認知能力」の形成にプラスの影響を与えていることが分かったようです。

子どもたちの将来に役立つと信じて、地域の皆様等の力も借りながら今後も様々な体験学習に取り組んでいきますので、引き続きご理解とご協力をお願い致します。

